

第1回大東市指定管理者選定審査委員会

(大東市立北条コミュニティセンター) 議事録要点録

- 1 日時 平成27年6月17日(金) 午前10時30分～12:00
- 2 場所 大東市役所 厚生棟2階 A会議室
- 3 出席者 委員5人
(西辻副市長・北崎福祉・子ども部長・南田生涯学習部長
小寺委員(外部委員)・下築委員(外部委員))
事務局5人
(福祉政策課):村岡総括次長・種谷課長補佐・川口主査
(スポーツ振興課)前田課長・中村課長補佐
- 4 議題
 1. 委嘱状の交付
 2. 委員紹介
 3. 委員長挨拶
 4. 委員会傍聴の非公開決定
 5. 施設の概要説明と募集要項の説明
 6. 審査採点表の決定

5 内容

●委員会傍聴の非公開決定

【事務局説明】

- ・「大東市審議会等の公開に関する規程」において、外部委員が加わっている審議会等に準じる本委員会は、原則公開となるが、大東市情報公開条例の非公開事由に該当する内容については、会議を公開しないことができるものと規定されている。本委員会を非公開とする事由について2点説明する。
 - ① 申請書等の内容に法人等の企業ノウハウを含んでおり、公開することにより法人等の競争上の地位を侵害するおそれがあること。
 - ② 本委員会は、審査・選定を任務としており、公開することによって、審査選定事務の遂行に著しい支障を及ぼすおそれがあること。
- ・指定管理者の指定議決をいただいた後には、選定経過および会議録の要点について、市ホームページで公開していく予定である。

【質疑】

- ・質問なし

●施設の概要説明と募集要項の説明

【事務局説明】

- ・施設概要、募集要項にそって説明する。

【質疑】

- ・今回の地域福祉交流ルームは単なる貸部屋でなくて、個人でも利用できる施設になるのか。(委員)
- ・今回の施設を団体が利用する場合は、その都度申請していただきます。また、個人が利用をする場合は、個人証を発行し、その都度提示していただくという運用となります。(事務局)
- ・駐車場について、スポーツ施設は有料と聞いているが、地域福祉交流ルームや子ども発達支援センターはどうか。(委員)
- ・地域福祉交流ルームおよび子ども発達支援センターの利用者は無料となります。(事務局)
- ・常時3人という人員体制であるが、曜日や時間帯、繁忙期など、いずれも常時3人の配置となるのか。(委員)
- ・人員体制については、繁忙期の増員や夜間の減員など指定管理者の運用で対応してもらいます。(事務局)
- ・指定管理者の中には、多くの人員を配置することが難しいと思っている団体もいるが、常時3人ですか。(委員)
- ・原則3人以上で運営してもらいます。(事務局)
- ・「募集要項7ページのIT機器のメンテナンスと対応能力を備えた人材」は、内数ですか。(委員)
- ・内数も可としています。(事務局)
- ・応募団体が5団体を超える場合は1次審査を行うとなっているが、これは事務局もしくは審査会のどちらで行うのですか。(委員)
- ・5団体を超える場合は、事務局で申請書を確認し、基準を設け、審査会に諮らさせていただきます。(事務局)
- ・プレゼンテーションの前に審査会がもう一度あるということか。(委員)
- ・事務局で申請書を確認し、審査会に諮らせていただきますので、審査会が1回多くなります。(事務局)
- ・すべての団体から申請があれば、すべての団体の資料を確認するということに理解して良いのですね。(委員)
- ・資料が膨大になるため、事務局が申請書を確認し、また基準を示して、審査会に諮らせていただきます。(事務局)
- ・審査会で説明するのではなく、前もって説明が必要ではないか。(委員)
- ・審査会当日の説明となると、時間がかかってしまいますので、委員には前も

って考え方を示させていただきます。(事務局)

- ・ 5団体に決めるのは、事務局の方でやっていただき、その5団体を審査会で審査したら良いのではないかと。(委員)
- ・ 事務局で5団体を決めるということで良いのでしょうか。(委員)
- ・ そうなると違う審査基準で決めるのか。(委員)
- ・ 採点表を使って、5団体を決めたらどうか。(委員)
- ・ そうなると結果が出てしまうのではないかと。(委員)
- ・ 採点方法は経営状況や委託料などいろいろな考え方があるが、事務局でまず採点表で5団体に決め、プレゼンテーションをみて、あらためて委員が採点をすれば良いのではないかと。(委員長)
- ・ 異議なし。(委員)
- ・ 子ども発達支援センターや学齢障害児施設の管理業務も指定管理者の対象となるのか。(委員)
- ・ 今回の指定管理者の選定における業務は、地域福祉交流ルーム、体育館、グラウンドが対象で、子ども発達センター等の管理業務は対象外となっております。(事務局)
- ・ 指定管理料の中に子ども発達支援センター等の費用は含まれていないのですか。(委員)
- ・ 今回の指定管理料の中には含まれておりません。(事務局)
- ・ 管理業務の中に含まれていなくて良いのですか。(委員)
- ・ 募集要項の1ページに子ども発達支援センターの仕様書に記載のある業務は、指定管理者が行うと記載しており、別途、委託契約を結ぶ方向で進めていきます。その内容につきましては、説明会でも説明しております。(事務局)
- ・ その費用はどうなるのですか。(委員)
- ・ 今回の指定管理料には含めておりませんので、別途、予算化します。(事務局)
- ・ 質問期間が6月10日までとあるがどのような質問があったのか。(委員長)
- ・ 質問につきましては、全部で75問ありました。重複する質問もありましたが、主に備品関係や管理業務についての質問がありました。また、工事中ということもあり、建築にかかわる質問やその他に地域での状況についての質問もありました。(事務局)

●選定の進め方

【事務局説明】

① 第1回審査会

募集要項については、各団体に対して6月1日と2日に配布し、現地説明会については6月3日に行った。申請書の提出日は6月30日としている。

募集要項では、応募団体から5団体を超える場合は、事務局で申請書を確認し1次審査に凶らせていただき、5団体を2次審査の対象とする。

事務局において、1次審査では申請書を取りまとめ、資格審査を行った後、各委員に全申請書を配布する。申請資格は募集要項で定めており、この資格審査において、不適格な団体等があった場合は失格とし、審査委員会の審査対象から除外する。

② 第2回審査会

次回選定審査委員会は、7月中旬を予定している。審査会では1団体50分程度でプレゼンテーションと審査会による面接を行う。

団体からのプレゼンが20分、委員からの質問と団体の回答で30分程度を予定している。

各団体に対しての質問については、共通質問は委員長である副市長の方から行っていただき、その後、所管である福祉・子ども部長、生涯学習部長を中心として各委員から、個別質問をしていただく。

③ 第3回審査会

第2回審査会終了後、委員の皆様には配布した採点表を持ち帰って採点をしていただく。その後、採点表を事務局に提出していただき、第3回審査会で合計点が一番高い団体を指定管理者の候補者として決定する。

候補者として選ばれた団体は、市長決裁を経た後、定例月議会において指定管理者の指定議案として議会に上程する。定例月議会で、議決を受けた後、正式な指定管理者として指定することになる。

【質疑】

- ・第3回審査会で候補者が決まってしまうということなので、第3回審査会では議論することがないがよろしいか。(委員)
- ・一定の評価基準は説明するが、評価自体は委員ごとに判定していただきたい。(事務局)
- ・点数だけ持ち寄るなら、第2回審査会において、1つプレゼンが終わったら採点するとうい形で採点したら良いのではないか。(委員)
- ・全部のプレゼンが終了後、比較しながら採点した方が良い。(委員)
- ・その場で採点する分と、あとでゆっくり考えて採点する分があるため第3回審査会を開くべき。(委員長) → 第3回審査会を開くことに決定。

●審査採点表の説明

【事務局説明】

表の1番左側の欄に区分として、「事業計画書の評価」「安定性の評価」「委託料」に分けている。「事業計画書の評価」は、各団体から提出された事業計画書の様式ごとに評価する。「安定性の評価」については、同様の施設の管理運営実績を評価する「業務実績による安定度」と団体の財務内容を評価する「財政的安定度」がある。この部分は、団体の業務実績、団体の決算状況という数値または事実によって評価する部分であり、委員間に採点の違いが生じると、かえって不合理となるので、決算状況については公認会計士の意見をいただき共通採点を作成し、業務実績についても一定の採点案を作成する。

採点方法は、まず奇数の点数について、3点の場合は2点を、5点の場合は3点を基準とする。そのうえで、良いと判断された場合は加点し、劣ると判断された場合は減点するという方法で採点する。偶数点について、「就職困難者等への就労支援に対する評価」は、「別表1」の上段に点数表採点方法を記載している。「自由提案」については、実現可能性のある3事業の提案があれば5点とする。また、募集要項15ページに記載している「自由提案の展開について」の事業と合致する場合は2点を加点する。

「業務実績による安定度」については、「別表1」の中段に採点方法を記載している。大東市外に事務所を設置し、他市で指定管理の受注実績がある場合を基準とし、その基準点が大東市内に事業所がある場合は10%増しで算出する。なお、合計点が小数点の場合は四捨五入して算出する。

委託料については、「別表2」のとおり、予定価格から予定価格の90%の差を10で除し、表のように10点の区分にする。また、本事業で算出した指定管理料のうち、人件費部分を下回る額を提示してきた団体は5点とする。これは、施設の継続的な運営や指定管理者が安い給料で人を雇うことを防止するという観点からこのような基準を設けている。

自由提案と業務実績は加点方式で算出するので、表にある点数を超える場合は表の点数を採用する。

最終的に、すべての点数の合計100点満点のうち、点数の一番高かった団体と契約を進める。

【質疑】

- ・「自由提案」で実現可能性のある事業が2つの場合は点数がないのか。(委員)
- ・そのとおりです。(事務局)
- ・極端な話し実現可能性のある事業を10個提案してきた場合でも、全部が「自由提案の展開について」の事業と合致しなければ加点は0点となるのか。(委員)
- ・そのとおりです。ただ、募集要項には地域住民の交流の推進が図れる事業を

提案してくださいと記載しているので、これにそった事業が提案されると思われます。(事務局)

- ・ただ単に数多くの事業を提案してきて点数を加点するのはどうか。(委員)
- ・「自由提案の展開について」は説明会で説明したのか。(委員)
- ・説明会で説明したのであれば提案してくるのではないか。(委員)
- ・審査会の判断は事務局の提案を採用し、加点については、個々の委員の判断でこの基準に基づいて行うものとする。(委員)
- ・公認会計士の審査では、ただ単に資産等を持っているだけで判断をせず、また、もうけ主義にはならないように会計士と十分調整してください。(委員)
- ・NPOや社会福祉法人と民間の企業とでは、財務状況の判断が異なってくると思われるので、財務状況だけでなく、中身をみて判断してほしい。(委員)
- ・小数点の点数の付け方は考えられるのか。(委員)
- ・1点単位で採点していただきたい。(事務局)
- ・比較して採点すれば良いので、小数点の付け方は難しいのではないのか。(委員)
- ・今後は100点満点にこだわらず120点や140点など様々な採点方法を考えてください。(委員)
- ・いろいろな意見がありましたが、事務局の提案を採用させていただきます。(委員長)

その他

- ・申請者数によっては、第2回審査会の開催日が多少前後するが、おおむね7月中旬頃を予定します。(事務局)

第2回大東市指定管理者選定審査委員会

(大東市立北条コミュニティセンター) 議事録要点録

1 日時 平成27年7月29日(水) 午後1時00分～午後9時00分

2 場所 大東市役所 厚生棟2階 B会議室

3 出席者 委員5人

(西辻副市長・北崎福祉・子ども部長・南田生涯学習部長
小寺委員(外部委員)・下築委員(外部委員))

事務局5人

(福祉政策課)：村岡総括次長・種谷課長補佐・川口主査

(スポーツ振興課) 前田課長・中村課長補佐

4 議題 プレゼンテーション

5 内容

●一次審査結果報告

【事務局説明】

1次審査の結果内容を説明する。6団体から申請があったため、客観的に算出できる「委託料」「財務状況」「指定管理者受託実績等」の3項目で採点し、上位5団体が本日のプレゼンテーションを行うことを説明する。

【質疑】

- ・質問なし

●プレゼンテーションの説明

【事務局説明】

- ・各団体の持ち時間は、50分(プレゼン20分、質疑30分)となります。
- ・各団体への質問は、委員長から行い、その後各委員から質問を行います。

【質疑】

- ・採点方法を再確認したい。(委員)
- ・5点の場合は3点を基準とし、良い場合は加点し、悪い場合は減点するといった形で採点する。3点の場合は2点を基準とする。(採点は整数で行う。)自由提案については、実現可能性のある3事業の提案があれば5点とし、募集要項に記載のある「自由提案の展開について」の事業と合致する事業があれば2点を加点する。「委託料」「財務状況」「指定管理者受託実績等」の3項目については、事務局の方で記載済み。(事務局)

●プレゼンテーション

～団体Aプレゼンテーション～

【質疑】

- ・類似施設を運営しているとあるが、その運営において問題点はあるか。(委員)
- ・不平等利用の問題がある。例えば、ある団体が優先的に使用するなど。(A)
- ・その場合はどうするのか。(委員)
- ・じっくり話をし、優先的には使用させない。(A)
- ・市内外にこの施設のPRを行いたいけどどのように行うのか。(委員)
- ・市広報やHP、地域の掲示板、チラシを作成しPRを行う。将来的には新聞の折り込みなども考えている。(A)
- ・提案事業で一番人気のある事業は何ですか。(委員)
- ・親子参加型の事業が一番人気である。その他に高齢者の健康体操なども人気がある。(A)
- ・ニュースポーツの普及やスポーツをしていない人への普及の考え方はどうか。(委員)
- ・現在、スポーツ施設を運営していないので弱いところがある。そのため、市のスポーツ関係団体と連携し進めていきたい。自分たちがイベントを行うことはノウハウがないので専門的な方に話を聞きたいと思う。(A)
- ・事故が起きた時のAEDの使用の考え方はどうか。(委員)
- ・施設を運営するのにノウハウがないという回答はどうか。(委員)
- ・館長と副館長で運営していきますので、全体的に考えていきたい。(A)
- ・危機管理について説明してください。特に施設の中には子ども発達支援センターがあるが連携を図っていくのか。(委員)
- ・消火器や通報の訓練を行う。複合施設なので支援センターとも連携を図っていく。(A)
- ・雇用形態について、すべて契約社員で行うとなっているが、管理体制がきちんとできるのか。(委員)
- ・他の施設もこの形態で行っている。アルバイトではなく社員なのできちんと行う。指定管理者は有期ということもあり契約社員としている。(A)
- ・スポーツ施設の稼働がないときはどのようにするか。(委員)
- ・平日の利用は少ないと思う。そのためには、PRを行っていくしかないと考える。(A)
- ・館長はそのようなことを考えなければならないが、どのようにして採用しますか。(A)
- ・募集をかけるときは、市内在住の方で、スポーツなどの専門的知識を有する人や経験者を考えている。(A)
- ・そのような人はなかなか見つからないので、館長にと考えている人がいるのか質問したのだが。(委員)
- ・そのような人はいないが、様々なところで募集をかけていく。(A)
- ・研修はどのように行うのか。(委員)
- ・現場で研修を行っていく。(A)
- ・地域福祉交流ルームは無料です。稼働率の向上について具体的に説明してください。(委員)
- ・HPを開設し、いろいろな講座を発信する。施設を利用した方の意見を聞き発信していく。提出している資料に書いてある事業を行っていく予定。他の施設では運営委員会をつくっていろいろな意見を聞いている。例えば、高齢者の方が足湯でゆっくり話をしたいという意見もあった。いろいろな意見を出してもらえればその意見を反映させていく(A)

～団体Bプレゼンテーション～

【質疑】

- ・現在、地域向けの広報がありますが、この施設は大東市民が対象です。市内全域にどのようなPRをしますか。(委員)
- ・市域全域にPRするために市の広報誌を活用する。HPやフェイスブックも活用していく。(B)
- ・各種団体との付き合いがありますが、この施設で各種団体とどのように連携していきますか。(委員)
- ・現在、既に地域のネットワークがあります。そのため、各種団体(町会や子供会など)に声を掛けて、会議やイベントを開催していく。(B)
- ・各種団体との連携が必要だと言いますが、その中でも最も重要なことはありますか。(委員)
- ・各種団体との連携を図るため、会合などに顔を出します。そこで、顔を知ってもらうことが重要だと考えている。(B)
- ・常勤が3名となっており人件費の比重が高く、人件費を多く取っていますね。(委員)
- ・人件費部分に多く費用を取っているのは、相談事業や地域の若者の雇用等(就労支援)を考えているためです。(B)
- ・障害者や高齢者のためのバリアフリー対応工事は行うのか。(委員)
- ・今回の施設は新設であるため、ある程度バリアフリーはされていると思うが、運営開始後に改めて施設を見て、改善していきたいと考えている。軽微な改修は我々で行い、大幅な改修がある場合は市と協議して改善していきたいと考えている。(B)
- ・様々な取り組みを行う予定となっているが、とりわけ障害児に対する取り組みについて子ども発達支援センターとの連携の考え方を説明してください。(委員)
- ・子ども発達支援センターと連携を図り事業を展開していきます。(B)
- ・プレゼンを聞いたところ北条のための施設と感じたが、これは市の施設なので、そのことは考えてほしい。(委員)
- ・ニュースポーツの普及についての考え方はどうか。(委員)
- ・地域ではスポーツをしている団体があるので連携しながら進めていく。(B)
- ・スポーツをしていない人への普及についての考え方はどうか。(委員)
- ・球技などを無料で行う機会が非常に少なくなっていると感じている。そのため、慢性的な運動不足や集団で体を動かす楽しみなどがわからない人が増えてきていると思う。それを解消するため、家族でキャッチボールをする事業などで親子の絆を深めることや、その他、体を動かす事業を考えていく。(B)
- ・事故があった時のAEDなど対応の考え方はどうか。(委員)
- ・マニュアル化し職員の統一的対応を考えていく。(B)
- ・スポーツ推進員が地域を回り、ニュースポーツの普及を行っている。そのため連携を図り普及に向け考えてほしい。(委員)
- ・他の施設においてカローリングを行った実績があります。子供会とも連携を取っていますので、この施設でも連携を図り進めていく。(B)
- ・施設は無料ということなので、自由提案における自主事業(有料)の学力向上ゼミなど

は、費用を回収して行っていくと思いますが、このような事業展開で運営していく必要性をどのように考えているか。(委員)

- ・地域のボランティアなどと連携し、費用負担の軽減などを考えて行っていく。ただ、学力向上は必要であると思っているので、講師の費用のことも考え、一定の自己負担をしてもらい行っていきます。(B)
- ・今回、応募された理由はなんですか。(委員)
- ・長年、北条地域をはじめ市全体の相談事業を行ってきた。その中で、北条地域に新しい施設ができることとなった。東部地域の発展なくして市の発展はないと考えているので、今回応募しようと思いました。(B)
- ・職員の研修(接遇)の具体的な考え方はどうか。(委員)
- ・職員研修は年間計画を作成して行っていく。中身としては、人権研修、防災訓練、接遇やマナーの研修を行っていく。障害者や高齢者の接遇の研修、手話研修なども行っていくと考えている。個人情報研修も行っていく。(B)
- ・26年度の決算において、急に正味財産が増えているが、その要因はなんですか。(委員)
- ・他の施設の指定管理を引き受けたことにより利益が出たことと職員が退職したことによるものです。(B)
- ・施設使用料収入を150万円と見積もっていますが、市が想定している金額よりも低くなっています。その要因はなんですか。(委員)
- ・利用者は北条地域の方が多くなると思っていますので、減免対象者が多く利用されると考えこの金額にしました。(B)
- ・保守点検の費用が安いですね。(委員)
- ・他の施設の状況や見積もりを取って算出した結果です。(B)

～団体Cプレゼンテーション～

【質疑】

- ・貴社には、本市において清掃や警備などの業務を多くやっただいている。また、門真市など近隣市においても業務を行っている。今回、指定管理の申し込みがありましたが、初めてですか。(委員)
- ・初めてです。今までは指定管理に向かなかったが、社長が代わったことで、地域貢献の必要性から指定管理者制度を行っていくべきとなり、今回申し込みを行った。(C)
- ・今後も、他の指定管理があれば申し込んでいくのですか。(委員)
- ・はい。大東市の町会長などに知り合いがおり、大東市の実情を教えてもらえる環境があったので、最初に大東市に申し込みを行った。(C)
- ・建物管理業務については実績があるが、指定管理業務は自由提案等も重要なところである。申請書に親子がふれあい農業を行うとあるが、他に考えていることはありますか。(委員)
- ・親子のふれあいの場の提供は、重要であると考えている。例えば、野外活動センターなどを利用し料理教室などを行うことがあります。その他に海浜公園で磯遊びなどを行っていきたい。指定管理者の実績がないので、申請書に書いてある内容がベストの内容で

す。(C)

- ・貴社は清掃、警備のスペシャリストであるが、指定管理者はそれだけを求めているわけではない。従事者の専門性のなかで、清掃員や警備員の配置を予定しているが、自由提案を行っていくには少し心もとないと感じるため、具体的に説明してください。(委員)
- ・弊社には、介護の資格を持っている方がおります。その方などに聞いて、運営しながら考えていきます。どのように運営していくかを暗中模索しており、コミュニティセンターの指定管理者を受けたことがないことが弊社の弱点です。(C)
- ・コミュニティセンターであるため、コミュニティの中核となり地域の団体さんとの連携も重要であるが、申請書に記載がなく、どのようにお考えか具体的な説明をお願いします。(委員)
- ・受注した後に、町会やNPOなどに出向き、どのように運営していくかを相談しに行こうと考えています。現在の弊社のノウハウでは、運営を考えていくことは厳しい現状です。このため、受注した後に、いろいろ回って決めていくため、あえて申請書には書いておりません。(C)
- ・その都度その都度と後で考えるでは質問しにくい。その中で、質問させていただきますが、体育館などで事業する場合は専門的な方がいるのですか。(委員)
- ・従業員の子どもでクラブ(バスケ、バレー、バトミントンなど)をやっている人が大東市近辺で多くいる。そのような人達に、ボランティアでというようなことを考えて指導していただきます。(C)
- ・緊急時の対応について説明してください。(委員)
- ・警備については、一番優秀な人員を朝の6時から夜の10時まで配置します。そのようなものは、AEDなど資格を取得している。現在は大東市の学校などで行っている。資格者は、朝8時から夜5時まで配置する。(C)
- ・館長と副館長の役割は重要であると考えている。貴社が見積もる人件費は、市が算出した額より低いですが、そのような中で事務執行ができるのか。(委員)
- ・館長は大東市在住で探している。給料は月額26万円です。副館長は2名体制で行う。給料は月額22万円です。(C)
- ・地域コミュニティセンターは、交流センター、グラウンド、体育館、あと子ども発達支援センターが併設していますが、これだけはやっていきたいということはあるでしょうか。(委員)
- ・1点目は建物の外を花と緑でいっぱいになりたいです。その他に花壇をつくり花いっぱいになりたいです。弊社では1級と2級の造園資格者がおります。そのものに施設に来てもらって、きれい・落ち着くという空間をつくりたい。四季折々の空間にしたい。2点目は多くの人に来てもらってにぎやかにしたい。しかし、申請書に書いてしていることがすべてです。弊社では障害者支援センターなどの実習生を受け入れているため、その方を雇っていきたい。そのため、弊社の障害者雇用率が6.74%となっている。障害者の自立に向けたお手伝いをしたいというのが思いです。(C)
- ・施設の運営については、これから決めていくということですが、いつ頃に決まりますか。(委員)
- ・内定が出た時点で、いろいろなところに相談していきたい。3月中旬までには考えてい

きたい。(C)

- ・障害者雇用を進めていることは、良いことだと感じました。(委員)

～団体Dプレゼンテーション～

【質疑】

- ・全国で700件の施設管理があるということで実績は十分だと思います。また、今回の施設のようなコミュニティセンターも運営しておられます。そこで、地域によって差があると思いますが、大東市を客観的に見てどのような地域だと思いますか。他市との比較でも良いです。(委員)
- ・大阪では実績がないので、モデルになるところがないのですが、一番近いところでは三重県津市で、人口も14万人と大東市と同じくらいの市の指定管理を行っています。この施設の運営はうまくいっており、一番運営しやすい規模の市ということで今回申し込みをしました。(D)
- ・自由提案は多種多様に出していただいておりますが、地域によって色々あると思います。大東市では山があります。北条も山が近いですが、山に関する自由提案はありますか。(委員)
- ・他施設では健康づくりという面で、高齢者にウォーキングをやってもらうということで、外に出てきてもらうなどがあります。地域のお祭りなどに参加して、地域に密着した運営を行っていきます。(D)
- ・資料には町会の名前がありますので、よく調べていると思いました。地域での活動を確認したのですか。(委員)
- ・北条では、ふれあいフェスティバルなどがありますが、期間は3年しかありません。すぐに地域に入っていくことは難しいと思うので、何回も地域に足を運び、我々を知ってもらうということをしていきたい。(D)
- ・貴社は知的障害者の事業を展開しているということですが。(委員)
- ・事業の展開というよりは場所の提供を行っている。知的障害者に印刷・製本作業を行ってもらっている。その他に水をつくるということをやっている。(D)
- ・子ども発達支援センターとの連携とありますが、地元の障害者の事業所との連携を行っていくのか。(委員)
- ・コミュニティセンターの部屋を貸し、パン作りや販売などを行ってもらう。(D)
- ・他の市において多くの施設の指定管理を受注していますが、大東市でその経験が活かせるヒントはありますか。(委員)
- ・指定管理者の実績が多くあるので、他の施設の良かった点や悪かった点を参考にしながら運営していきたい。(D)

～団体Eプレゼンテーション～

【質疑】

- ・共同事業体ということですが、a社は指定管理の実績がなしでb社は指定管理の実績がありますので、b社だけでも今回の申し込みをできたのではないのでしょうか。なぜa社と組んだのですか。(委員)

- ・弊社（b社）は関東での実績はありますが、大阪では全くございません。大阪では知名度がないので、大阪で知名度のあるスポーツに関連したa社と一緒に取り組んでいこうと思いました。（E）
- ・支店はどこにあるのでしょうか。（委員）
- ・関東には支店が数か所あり、西は名古屋や大阪に支店があります。（E）
- ・支店が大阪にないと資格がないというわけではなく、共同事業体の相手方が、大阪にあるので、打ち合わせの場合どうするのかという確認のため聞かせてもらいました。（委員）
- ・スポーツイベントにおいて元選手を呼ぶとのことで、有名人を呼ぶことで集客力はあがると思いますが、これは本当に実現可能ですか。また来てもらって何をしてもらいますか。（委員）
- ・実現可能です。元プロに来てもらいその技術を見てもらいます。その姿を見て、本当にすごいと感じてもらい、スポーツに興味をもってもらいたい。もう一つは講習会などを行い、オリンピックの裏話をしてもらおうなどです。（E）
- ・共同事業体ということで、スポーツに精通した会社とビルメンテナンスの会社が組むことにより職員の専門性はありそうですが、日常的な運営を行う職員が少し弱いように感じます。コミュニティセンターは地域住民が交流する場所ですが、日常的な取り組みはどのように考えていますか。（委員）
- ・イベント部分はトップ選手を呼ぶことですが、日常的な運営については、施設にある自転車コースを利用して、自転車の安全講習や子どもの自転車レースなどをやりたい。（E）
- ・研修の中身がよくわからないのですが。（委員）
- ・弊社の職員が施設に出向き、指導や研修を行っている。（E）
- ・障害者雇用の達成率ですが、a社は達成してないため資料が出ていますが、b社は達成しているのですか。（委員）
- ・b社は達成しています。（E）
- ・申請書にニュースポーツのことを書いていますが、どのようなことをしますか。（委員）
- ・現在はキンボールスポーツやフロッカーなどを行っております。また、様々な企業などには協力も求めています。最初から道具をすべて準備するのは難しいので、3セットを準備し、まずは触れてもらうことから始めます。（E）
- ・事業を推進するにあたり地域との連携が必要と思いますが、どのようなお考えを持っていますか。（委員）
- ・地域の方と連携を図り運営を行っていく。事前に市内の事業所からは関心表明書ももらっております。シルバー人材センターなどは、昔、スポーツをやっていた人がいると聞いておりますので、子ども達に教えてもらうなど世代間交流も行っています。（E）
- ・共同事業体ということでの職員の研修や指示はどう考えているのか。（委員）
- ・共同事業体ということで同じ組織になりますので、同じ方向で運営していきます。従業員も受付だけ、清掃だけ、と割り切って仕事をするのではなく、1人ひとり、従業員全員が施設の顔であるという認識で進めていく。（E）
- ・地域との連携は必要であるが、優先利用したい、ここを変えてほしいなど無理な要求があった場合はどのように対処しますか。（委員）

- ・公平・平等が第一ですが、まずは話を聞きます。弊社で対応できることは対応しますが、市と協議が必要な場合はご相談させていただきます。(E)
- ・手ごわい人がいた場合はどうしますか。(委員)
- ・十分に話を聞かせていただきます。(E)
- ・他の施設も運営していますが、一番多い苦情は何ですか。(委員)
- ・カラオケなど人気があるのですが、順番がわからないということもあり、きっちり掲示などして対応していきます。(E)

●今後の予定について

本日のプレゼンテーション並びに質疑応答の内容を基に、採点表を持ち帰り各自採点を行っていただく。採点表提出の締め切りは、7月30日(木)正午までとさせていただきます。その後、採点表の集計を行い、8月5日(水)午前10時からB会議室にて、最終の第3回大東市指定管理者選定審査委員会を開催し候補団体の選定を行います。

第3回大東市指定管理者選定審査委員会

(大東市立北条コミュニティセンター) 議事録要点録

- 1 日時 平成27年8月5日(水) 午前10時00分～午前11時00分
- 2 場所 大東市役所 厚生棟2階 A会議室
- 3 出席者 委員5人
(西辻副市長・北崎福祉・子ども部長・南田生涯学習部長
小寺委員(外部委員)・下築委員(外部委員))
事務局5人
(福祉政策課):村岡総括次長・種谷課長補佐・川口主査
(スポーツ振興課)前田課長・中村課長補佐
- 4 議題
 1. 採点結果の説明
 2. 候補者の選定
 3. 審査結果の公表について

5 内容

●採点結果の説明

【事務局説明】

- ・審査採点の集計結果を報告する。

合計得点は、

1位が	430点の	団体A
2位が	397点の	団体B
3位が	371点の	団体C
4位が	347点の	団体D
5位が	336点の	団体E

- ・事務局としては、各委員が採点されました団体の順位と全委員の合計得点の順位との間に矛盾は無いと考えます。説明は以上です。

【各委員の講評】

- ・自主事業や自由提案から利用率をどのようにあげてもらうか、また、実績や地域との連携、管理運営の基本的な考え方など市民が満足できるかという観点から点数を付けました。団体Aについては、地域との連携を重点的に考えていたのではないかと感じました。団体Dは、ビルメンテナンスにおいて優れていたと思うが、自由提案のスポーツなどが少し弱かったかなと感じています。団体E

は、建物、環境、衛生などの業務について優れているが、自主事業については、選定後に考えていくということで事業の実現性が弱いかなと感じました。団体Bは、多くの指定管理を受けており実績があります。提案事業も充実しているということで高い評価をしました。団体Cは自主事業が充実していたが、共同事業体としての連携が少し弱かった。(委員長)

- ・団体Aは、地元との連携が必要なことから、地元住民が喜ぶ自由提案であったと感じたため評価が高かった。団体Bはプレゼンにおいて全員が積極的に発言し、やる気がみられた。また、周辺の自治会など細部まで調べていると感じた。(委員)
- ・団体Bは、東京から社長が直々に来て、全員でPRしていたのでやる気を感じた。(委員)
- ・最終的には団体Aと団体Bの評価が良かった。他の団体は、経理や管理に重きを置いていたのではないか。この施設は2つの機能があり、子ども発達支援センターのこともよく考えている。ただ、団体Aは地元との連携という観点から分があった。(委員)

●候補者の選定

【委員長からのまとめ】

- ・本委員会として、この集計結果のとおり、団体Aを「大東市立北条コミュニティセンター」の指定管理者の候補者として選定することを決定してよろしいですか。 → 各委員異議なし
- ・団体Aを指定管理者の候補者として選定し、市長に報告する事とします。

●審査結果の公表について

【事務局説明】

今回の「大東市立北条コミュニティセンター」の指定管理者に係る候補者の選定結果につきましては、市長決裁後、団体側に通知します。その後、市ホームページ上で指定管理者の候補者名を公表します。

本委員会の審査の経過につきましては、9月議会において、この「大東市立北条コミュニティセンター」の指定管理者指定議案が議決された後に、市ホームページ上で公開する予定です。

公表内容につきましては、選定された団体名、公募状況、選定審査委員会の構成となります。各委員につきましては、個人名と役職名を公表します。次に、選定基準となりました審査項目の大項目とその配点、また、選定審査委員会が開催された日程と得点順にした選定結果を公表します。なお、候補者に選定されなかった団体名につきましては公表しません。